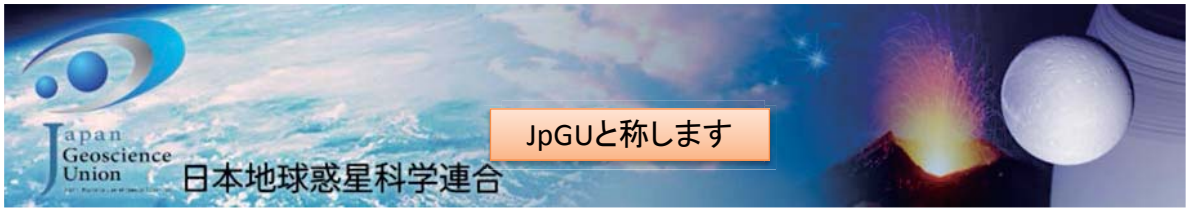


地球惑星科学

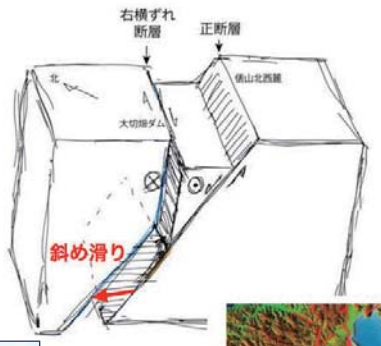
さまざまな現象の理解には
広範な分野の協力が不可欠

✔□ 地球や惑星、宇宙空間に関する研究を行っている50学会の研究者の集まり
✔□ 会員数 約1万人

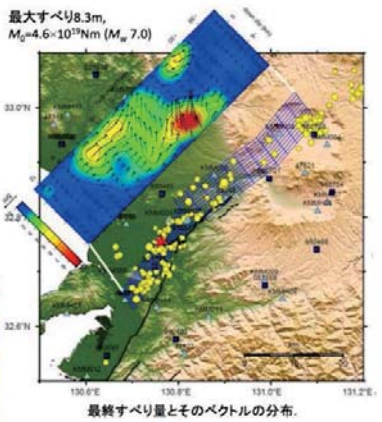
日本宇宙生物科学会
日本応用地質学会
日本温泉科学会
日本海洋学会
日本火山学会
形の科学会
日本活断層学会
日本気象学会
日本鉱物科学会
日本古生物学会
日本沙漠学会
資源地質学会
日本地震学会
日本情報地質学会
日本水文科学会
水文・水資源学会
生態工学会
生命の起原および進化学会
石油技術協会
日本雪氷学会
日本測地学会
日本大気化学会
日本大気電気学会
日本堆積学会
日本第四紀学会
日本地学教育学会
地学団体研究会
日本地下水学会
日本地球化学会
地球環境史学会
地球電磁気・地球惑星圏学会
日本地形学連合
日本地質学会
日本地図学会
日本地熱学会
地理科学学会
日本地理学会
日本地理教育学会
地理教育研究会
地理情報システム学会
東京地学協会
東北地理学会
土壌物理学会
日本粘土学会
日本農業気象学会
物理探査学会
日本陸水学会
陸水物理研究会
日本リモートセンシング学会
日本惑星科学会

これらの学会の力を集結！
さらに防災学術連携体へ

熊本地震 --- 例えば現地調査



花折断層
（右横ずれ断層）
琵琶湖西岸断層帯
（西上がり逆断層）



地震調査委員会防災科研資料

東北大学災害科学国際研究所・平成28年（2016年）熊本地震に関する調査報告会・資料より

Japan Geoscience Union MEETING 2016
May 22nd-26th Makuhari Messe
JpGU and AGU to Collaborate in JpGU Annual Meetings in 2016 and 2017

- 地球惑星科学分野の世界有数の研究発表大会
- 幕張メッセで約30会場で5日間開催
- 約5,000件 の口頭及びポスター発表
- 参加者約7,000名

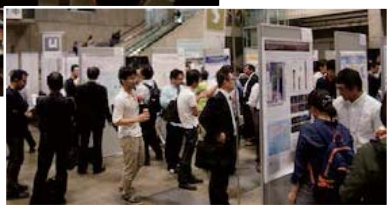
口頭発表会場

義援金の受付

ポスター発表会場

熊本地震に関する特別緊急セッションの開催

口頭発表 10件、ポスター発表105件



The Japan Geoscience Union Meeting 2016
緊急特別セッション
M-IS34 2016年熊本地震および関連する地殻活動
The 2016 Kumamoto Earthquake and related crustal activities

日時：DATE
口頭講演 Oral 5月25日 AM1/AM2 May 25th AM1/AM2
ポスター講演 Poster 5月25日 17:15～18:30 May 25th 5:15pm-6:30pm
5月26日 15:30～16:45 May 26th 3:30pm-4:45pm

コンビーナ：CONVENER
馬場俊孝（徳島大）Toshitaka BABA (Tokushima Univ.)、津野靖士（鉄道総研）Seiji TSUNO (RTRI)
吾妻 崇（産総研）Takashi AZUMA (AIST)、田中賢治（京都大）Kenji TANAKA (Kyoto Univ.)

会場：ROOM
幕張メッセ国際会議場 コンベンションホール A Makuhari Messe International Conference Hall / Convention Hall A
幕張メッセ国際展示場 6ホール ポスター会場 Makuhari Messe International Exhibition Halls / Hall6 (Poster area)

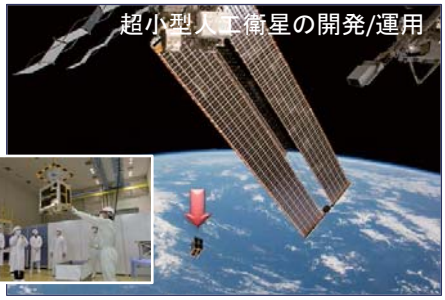
招待講演者 Invited Lecturers
平田直（地震研）Naoshi HIRATA (ERI)、矢来博司（地理院）Hiroshi YAGI (GSI)、熊原康博（広島大）Yasuhiro KUMAHARA (Hiroshima Univ.)
青井真（NIED）Shin AOI (NIED)、鈴木康弘（名古屋大）Yasuhiro SUZUKI (Nagoya Univ.)

PHOTO: Toshitaka BABA (Tokushima Univ.)

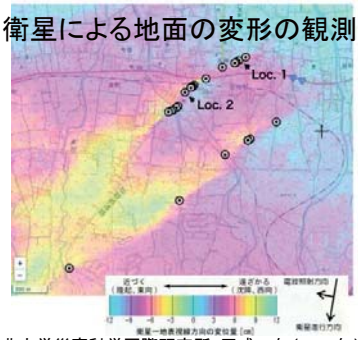
今後の展望

地上や衛星観測、数値シミュレーションなど多様な分野の研究者の連携を図り、
- 地震のメカニズム解明
- さまざまな地震の影響と復興の把握

を進めていきます。



衛星による地面の変形の観測



東北大学災害科学国際研究所・平成28年（2016年）
熊本地震に関する調査報告会・資料より